



こどもクリニックニュース

NO. 244 令和2年5月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (2020年6月まで)

5月	11日	(月)	3・9ヶ月健診	大利根・保健センター
	13日	(水)	2才健診	加須・保健センター
	28日	(木)	3才健診	加須・保健センター
6月	3日	(水)	内科健診	にしき保育所 AM
	10日	(水)	内科健診	水深幼稚園 AM
			2才健診	加須・保健センター
	17日	(水)	内科健診	第4保育所 AM

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

※新型コロナウイルス感染の流行状況により、日程の変更があるかもしれません。それぞれ該当施設からの指示に従ってください。



小児科休日診療の当番

令和2年5月までの当番一覧です。加須市では、11月～3月は元日を除くすべての日曜・祝日に、4月～10月は祝日に小児科休日診療を行っています。

月	日	曜日	当番医
5月	3日	(日)	加藤こどもC
	4日	(月)	加藤こどもC
	5日	(火)	ともながこどもC
	6日	(水)	加藤こどもC

※診療(受付)時間は9:00～12:00です。

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市の広報誌やホームページで最新情報をご確認ください。

休診の予定

7月末まで、臨時の休診の予定はありません。

感染症の情報

多くの人が「新型コロナウイルス感染症」への対応をしっかり心がけているためだと思いますが、すべての感染症が激減しています。少ない中でも多少目立つのは、溶連菌感染症くらいです。

手洗いはすべての感染症の予防に有効です。またカゼ症状のある方はマスクや咳エチケットを心がけてください。

※マスクは感染の予防というよりも、自分が周囲の方へ細菌やウイルスをばらまかないという効果のほうが重要です。かぜ症状がある時に、どうしても出なければならぬ場合はハンカチやハンドタオルを持ち歩き、咳が出るときに口を覆ってください。

気温の変化に注意!

初夏のように暑い日も増えてきました。こんな時期は小さなお子様の体温の管理に注意が必要です。とりわけ赤ちゃんは自分で服装の調節ができません。つい着せ過ぎていると、いつの間にか体温が上がる(熱が出る)ことが良くあります。あせも等のお肌のトラブルも増えてきます。

気温の変化とお子様の服装に注意してください。

今年の花粉症

今年は暖冬の影響で花粉の飛散開始と終了が例年より早くなったようで、4月下旬にはヒノキの花粉飛散もほぼ終わりました。今年の花粉の飛散量は、当初の予想通りに昨年よりかなり少なかったことに加え、新型コロナウイルスの影響で外出する機会も少なかったために、全般的には軽い症状で過ごせた方が多かったような気がしました。

5月からはイネ科の雑草やシラカバ、ブナの木仲間が咲きますので、これらの花粉に反応する方は引き続き注意して下さい。

新型コロナウイルス関連

全国に緊急事態宣言が発令され、多くの方が外出を自粛しています。おそらくその効果が出てきたのでしょうか、今のところ新規の患者数はおおむね横ばい又は、やや減少傾向の状態だと考えます。それでも現状の医療体制は「崩壊の瀬戸際」です。今後、患者数の更なる減少がなければ、遠くから「助かる命も救えない」ことになりかねません。

安全で有効なワクチンが開発・普及するまで、まだまだ新型コロナとの付き合いは長くなる覚悟が必要だと思います。

忘れてはならないのは、救急医療の最前線で仕事をしている医療従事者の方々、ライフラインを支えてくださっている運送業の方々、我々の日々の生活に欠かせないスーパー・コンビニなどの小売業の方々、彼らは日々新型コロナ感染のリスクにさらされながらギリギリの状態働いています。彼らに感謝しつつ、今の私たちにできることで彼らを応援したいものです。目前のゴールデンウィーク、ならびにその後の日々の過ごし方が極めて大切だと思います。

新型コロナウイルスに関連した相談窓口は

埼玉県新型コロナウイルス感染症サポートセンター

電話番号：0570-783-770 へ

<当院の近況>

ほとんどすべての感染症が大幅に抑制されている結果、当院を受診される患者さんは大幅に少なくなり、待合室が混雑することはなくなりました。おそらく多くの小児科診療所も似たような状況だと推測します。

当院では感染予防のため待合室の絵本はすべて撤去し、頻回に院内の消毒や換気を行っています。受付カウンターはビニールのカーテンで間仕切りしました。フェイスシールドも手作りし、鼻やのどの綿棒検査をするときに装着しています。

<遠隔診療について>

新型コロナウイルス対策として、人との接触を8割減らすポイントの一つとして「遠隔診療（オンライン診療）」が提唱されました。でも当院の様な小児科の診療所で診るこどもの病気の中で一番多いのは、熱や咳、嘔吐・下痢など、いわゆる「風邪」のような急性疾患です。このような方の正確な診断には、やはり丁寧な診察が欠かせませんので、遠隔診療は困難です。一方で、喘息や慢性の便秘症などで以前から定期的に通院しており、今も症状が安定している方であれば対応可能でしょう。当院ではオンライン診療は実施していませんが、上記に該当するような場合、保護者の方だけご来院いただいたうえで「お薬のみの処方」を行っています。ご希望の方は電話でお問い合わせください。

<予防接種は自粛しないで！！>

新型コロナ感染が心配で、予防接種を延期すべきかどうかの相談が増えてきました。答えは一つ「予防接種は標準接種の時期が来たら早めに受けてください」。ワクチンで予防できる病気は、コロナよりもずっと重い病気です。中でもとりわけ、0歳～1歳で接種するワクチンは極めて重要ですので、迷わず早めに開始しましょう。多くの小児科医院では予防接種専用の時間帯を設定し、一般の患者さんと接触しないように配慮しています。当院も同様の時間帯を設定していますし、通常診療の時間帯でも、ご希望があれば一般の待合室とは別の小部屋を用意できます。電話などでご相談ください。

なお予防接種に来院される時は、できるだけ少人数（接種者本人とお母様だけ等）でのご来院をお願いします。



夜間や休日の急病対策/電話相談

#7119・・・# 7（何でも）119番！

北川辺地域では 048-824-4199 へ

小児の救急電話相談（#8000）、成人の救急電話相談（#7000）、そして埼玉県救急医療情報案内を一つにまとめた相談ダイヤルです。

これさえ覚えておけば、こどもから大人まで、全ての方の医療相談や医療機関の案内まで対応してくれますので便利です。

こどもの救急（日本小児科学会）

診療時間外に医療機関を受診したほうが良いかどうかの判断の目安をホームページで提供しています。

<http://kodomo-qq.jp/>



当院のホームページ

<http://tomonaga-kodomoc.jp>



と
も
な
が
こ
ど
も
ク
リ
ニ
ック

加須市下高柳 1633-1

TEL0480-66-4150